

〈英米語学科〉

日本語による口頭試問について

神田外語大学の英米語学科では、大学でのアカデミックな学びの土台となる日本語の読解力・表現力を以下のように測ります。

【形式】

明確な主張・主旨がある 800 字から 1,000 字程度の論説文を3分間で黙読し、4つの質問に答えます。

- ・質問①「著者の主張」を読み取る問題
- ・質問②「根拠や理由」などを答える問題
- ・質問③「内容理解」を問う問題
- ・質問④「表現力」を測る問題

【要求される読解力と表現力】

1. その記事の中から主旨(著者の主張)と主旨を支持する論拠を読み取ること
2. 記事の中で暗示的な表現が意味していることを正しく読み取り、それを自分のことばで説明すること
3. 記事の内容に関連した質問に対し、自分の考えを論理的に述べること

【記事の内容】

記事のトピックは、特に専門的知識を要するようなものではありません。社会で身近に起こっていることや、新聞などでたびたび取り上げられている内容をもとにしたものです。

【アドバイス】

受験対策としては、まず、日頃から論説文を読む習慣をつけておくことが大切です。800 字から 1,000 字程度の論説文を3分くらいの時間で読み、著者が何を言わんとしているか、そしてその主張の裏付けとしてあげている事実や理由や根拠は何かを読み取れるようにすることが重要です。

勉強方法として、日本語による口頭試問対策のためのノートを1冊用意し、そこに毎日、読んだ記事を見開きの左ページに貼り付け、記事の主旨とそれを支持する論拠を右ページに書き出す練習をしてください。どのような論拠が、いくつ挙げられているのかも意識して整理すると、自分が内容を正しく理解できているかどうか分かります。こうした練習を重ねることで、少しずつ読解力が身についていきます。ノートを1冊やり終える頃には、実力だけでなく自信もついてくるはずです。

日頃から世の中で起きている出来事や議論となっている問題などに関心を持ち、読む習慣をつけることが、入試で力を発揮することにつながります。まずは、上に述べたように「論説文を読んで、主張やその論拠を理解し、ノートに書く」という勉強を重ねて、推薦・特別選抜入試に臨んでください。このような努力で培った読解力は、みなさんの大学での学びを有意義なものにする基礎力となります。